創作プログラムのご案内 | 受講生を募集します

「土とあそぼう!」

たくさんの粘土をにぎったりこねたり、丸めたり・・・裸足になり、身体全体を使って土とのかかわりを楽しみませんか?

日時＝10月6日(土) 13時30分～15時30分
対象＝小・中学生10名　※先着順
講師＝安藤郁子氏（陶芸家、秋田公立美術大学准教授）
経費＝無料

申し込み締め切り…9月29日(土)

「土に触れる こころに触れる」

土をつかって、音やイメージから自分のこころのかたちを探ります。いくつか作った中からひとつ選んで頂き、焼成後にお渡しします。

日時＝10月7日(日) 10時～12時
対象＝高校生以上10名　※先着順
講師＝安藤郁子氏（陶芸家、秋田公立美術大学准教授）
経費＝材料費として500円程度

申し込み締め切り…9月29日(土)

「ワークショップマート～ものづくりの庭～」

美術館に１日限定の不思議なマーケットがやってきます!

マーケットと言っても、ただのお店ではありません。お店では、漆（うるし）や植物を使った工作をしたり、自分だけのハンカチをつくることが出来ます。

ひとつひとつのワークショップは、美術館の作品たちがテーマになっています。ワークショップを体験したあとは、美術館の作品に詳しくなっているかも!

日時＝9月17日(月)(祝) 10時～16時
対象＝子ども～大人まで　＊事前申し込み不要
講師＝et craft／佐藤恭子／MOTO COFFEE／tenonaka／木幡メリヤス 他
経費＝材料費各店舗500円～1,000円　※当日は常設展無料
会場＝美術館庭園（雨天：館内）
主催＝福島県立美術館、NPO法人福島県立美術館協力会

◎お申し込み・お問い合わせは…
県立美術館「創作プログラム」係 電話024-531-5511
＊美術館総合受付、美術館HPでも直接お申し込みいただけます。

8-9月の開館スケジュール（○印＝休館日）

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉗	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	17	⑱	19	20	21	22
23	24	㉕	26	27	28	29
30						

利用案内

開館時間・・9時30分～17時（最終入館は16時30分）
休館日・・月曜日（祝祭日にあたる場合は開館）、
祝祭日の翌日（土日にあたる場合は開館）
観覧料・・・・常設展：一般・大学生 270円（20名以上の団体は210円）、
高校生以下無料
企画展：展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。
＊企画展料金で常設展もご覧いただけます。
常設展無料の日・・こどもの日、県民の日（8/21）、敬老の日、文化の日
観覧料の減免・・・・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。（手帳をご提示ください）

交通案内

【ＪＲ福島駅・東口より】
●電車…
福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分
●バス…
9番乗場より福島交通バス・市内循環ももりん2コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分
●タクシー…約5分

【自家用車の場合】
●東北自動車道・福島飯坂ICより市街地方向へ約15分



福島県立美術館
〒960-8003　福島市森合字西養山１番地
電話●024-531-5511／ファックス●024-531-0447
ホームページ●https://art-museum.fcs.ed.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ART INFORMATION
福島県立美術館ニュース

企画展
「土に挑む ―走泥社の作家たち―」
2018年9月15日[土]－10月14日[日]

2018/8-9　vol.196

企画展示のご案内

イラストレーター 安西水丸

2018年7月7日[土]〜9月2日[日]

安西水丸（1942-2014）は、1970年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広告など多方面で活躍したイラストレーターです。

はじめ広告代理店や出版社に勤め、デザイン等の仕事をしながら、嵐山光三郎の勧めで『ガロ』に漫画を掲載、南房総での幼少期を題材とした『青の時代』が高い評価を受けます。独立後は、村上春樹をはじめとする本の装幀や、『がたん ごとん がたん ごとん』などの絵本、和田誠との展覧会、広告や執筆活動など幅広く活躍しました。「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現した作品は、私たちをユーモアと哀愁あふれる世界へと誘います。

本展では、「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と資料あわせて 700 点以上によりご紹介します。

休館日●毎週月曜日
観覧料●一般・大学生 1,000（800）円、高校生 600（500）円、小・中学生 400（300）円　＊（ ）内は 20 名以上の団体料金

〔関連イベントのご案内〕

■ちいさなおはなしかいスペシャル
日時：8 月 9 日㈭ 10 時 30 分〜11 時頃まで
対象：0〜3 歳ぐらいのお子さんと保護者
場所：美術館 企画展示室
経費：無料
※申し込みは不要です。
詳しくは美術館または図書館へお問い合わせください。

■担当学芸員によるギャラリートーク
日時：8 月 25 日㈯ 14 時〜15 時
※観覧券をご購入のうえ展示室入口にお集まりください。

次回企画展示のご案内

土に挑む ―走泥社の作家たち―

2018年9月15日[土]〜10月14日[日]

戦後、日本の陶芸界に新風を巻き起こした前衛陶芸家集団「走泥社（そうでいしゃ）」。鈴木治（1926-2001）、八木一夫（1918-1979）、山田光（1923-2001）ら京都の若手陶芸家たちによって 1948 年に結成されました。従来の枠組や形式にとらわれない新しい表現が模索されていた中、“土”という素材に向き合い、それぞれ独自の創作活動を展開しました。

この展覧会では、当館が所蔵する鈴木治、山田光の他、走泥社を牽引した八木一夫の作品をご紹介します。さらに、走泥社の活動と並行して取り組まれた、実用性を持った器制作の一部をご覧いただきます。前衛的な活動が広く知られている彼らですが、決してそれまでの伝統を否定した訳ではありません。“土”とどのように向き合い、表現の可能性に挑み続けたのでしょうか。

走泥社の結成から70年、解散から 20 年となる 2018 年、三作家の多彩な創作活動の一端をご覧ください。

休館日●9月18日㈫、25日㈫、10月1日㈪、9日㈫
観覧料●一般・大学生 600（500）円、高校生 300（250）円、小・中学生 200（150）円　＊（ ）内は 20 名以上の団体料金

〔関連イベントのご案内〕

■担当学芸員によるギャラリートーク
日時：9 月 22 日㈯ 14 時〜15 時頃
※観覧券をご購入のうえ展示室入口にお集まりください。

●このほか関連ワークショップを開催します。
詳しくは本紙〈創作プログラム〉欄、または当館ホームページをご覧ください。

常設展示 | 福島県立美術館のコレクション

第Ⅱ期 常設展示

2018年6月30日[土]〜10月14日[日]

〔おもな展示内容〕

●酒井三良と日本画の名品
酒井三良《水郷の一日》、速水御舟《女二題》ほか
●型染の魅力
伊砂利彦《瀬》《松―集約》、柚木沙弥郎《人型》《窓》ほか
●現代の絵画：具象と抽象
村上善男《卍町に釘打ち》、玉川信一《月の花》ほか
●追悼展示：保田春彦《季節の残像》
●近代の洋画：関根正二《神の祈り》《裏の娘》ほか
●アメリカの美術
ベン・シャーン《ラッキードラゴン》、ワイエス《そよ風》ほか
●ヤノベケンジ《ラッキードラゴン》《サン・チャイルド》
●斎藤清、前川千帆の版画

館長講座 | 受講生を募集します

古典に帰れ―西洋美術の巨匠たち―
～ルネサンスからロマン派まで～

●第3回〔＊全 6 回シリーズ・隔月第 3 土曜開催〕
「ルネサンス（3）ティツィアーノ、ティントレット、デューラー」
日時：9 月 15 日㈯ 10 時 30 分〜12 時
講師：早川博明（当館館長）
会場：美術館講義室（定員 40 名、聴講無料）
＊事前の申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。